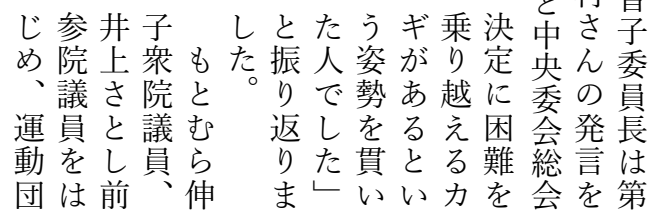
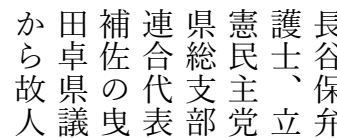


田村委員長　もとむら、井上氏ら

来賓の県市民連合事務局長の小



【山村さんの略歴 「偲ぶ会」しおりから抜粋】
1950 年、茨城県の専業農家に生まれる。1966 年、民青同盟に加盟、1970 年、労農問題研究所に入所、日本共産党に入党。1974 年、農林省勤務の山村欽一郎さんと結婚、1977 年、夫の実家、島田市に転居、3 人の子育てをしながら新婦人などで活動。1980 年、党中部地区委員会の専従になる。1983 年、32 歳で県議選島田市選挙区に立候補。1990 年、県委員会の常任委員。2000 年から同副委員長、書記長。2009 年、前任者の急逝により県委員長を引き継ぐ。2010 年党中央委員、2017 年以降、党幹部会委員

岐阜・本巣市議選、
県議補選・岐
阜市区で議席確保を

医療や公共交通サービスに困っている地域がある」ととバスの運行改善やタクシー券助成、診療所問題に引き続き取り組みたい

と訴えました。

また、「市内で地域差があり、

もとむら伸子衆院議員が応援に駆け付け、同氏が「住民の声をよく聞き実現に努力してきた」とのべ支持を訴えました。

ます」と表明しました。

もとむら氏は「歴史的岐路の中、市議選でも必ず勝利し、総選挙でも日本共産党を伸ばしてほしい」と訴えました。

また、8月のカムチャツカ地震の津波によるカキ養殖の被害について



て、現地を調査し、国に支援を求めたことや活用できそうな支援策について紹介しました。

志摩市演説会 もとむら氏

党南部地区委員会と志摩市委員会は13日、志摩市議選（10月5日告示、同12日投票、定数16、2減）勝利をめざす演説会を開き、もとむら伸子衆院議員が訴えました。

再選をめざす森光子候補（67）は、小中学校給食無償化や、子どもの医療費窓口無料と18歳までの拡大、生理用品を学校トイレに設置などを実現。森候補は介護保険料・国民健康保険税の引き下げなど「市民の願いを実現するために頑張り

もとむら氏は「歴史的岐路の中、市議選でも必ず勝利し、総選挙でも日本共産党を伸ばしてほしい」と訴えました。

9月 22 日(月)はブロックいっせい宣伝です